

ラムサール条約と新潟の湿地

～ 水鳥から見た潟の価値と賢い利用 ～

日本には、現在ラムサール条約に登録された湖沼・湿地等は51か所、面積にして約15万ha程あります。

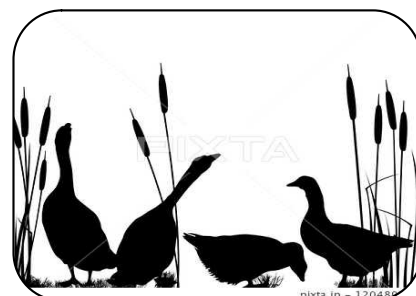
新潟県にも、西区にある佐潟や、阿賀野市水原地区の瓢湖があります。

ラムサール条約は、湿地の保全だけでなく、私たちの暮らしを支えてきた貴重な資源として、その賢い利用を進めていくことも目的としています。

湿原の価値、誰が何をどうしていけばいいのかを水鳥の視点を交えてこの講演会でお話をしていただきたいと思います。(1: 2015年現在)

記

日時 2月11日(土・祝) 午後4時から
会場 豊谷殿(新発田市諏訪町1-8-10)
講師 佐藤安男(さとう やすお)氏



プロフィール

新潟市秋葉区在住、若き日より登山や自然に親しむ、「佐潟水鳥・湿地センター」勤務。ラムサール条約の解説や自然案内業務を行う、また新潟県水鳥湖沼ネットワークを立ち上げ、水鳥生息調査を実施。2013年から一般社団法人五頭自然学校を運営。現在水の駅「ビュー福島潟」事務局長。環境省国指定鳥獣保護区管理員。

申込 参加費無料。定員40名。

講演会の申込みは、電話・メール・FAXで下記までをお願いします。
申し込み締め切り 2月6日(月)

講演会終了後、講師を囲んで懇親会を開催します。
場所は豊谷殿内：参加費5千円(当日徴収)
懇親会の参加希望者は、講演会と合わせて申し込みをお願いします。

主催 NPO法人 加治川ネット21

TEL: 090-8080-1349 FAX: 0254-20-7170

メール: kjn21@ml.shibata.ne.jp

注) この講演会は、加治川ネット21総会の終了後に行います。